

令和7年度ロボット/ドローン開発・実装促進事業

ロボット実装促進センター

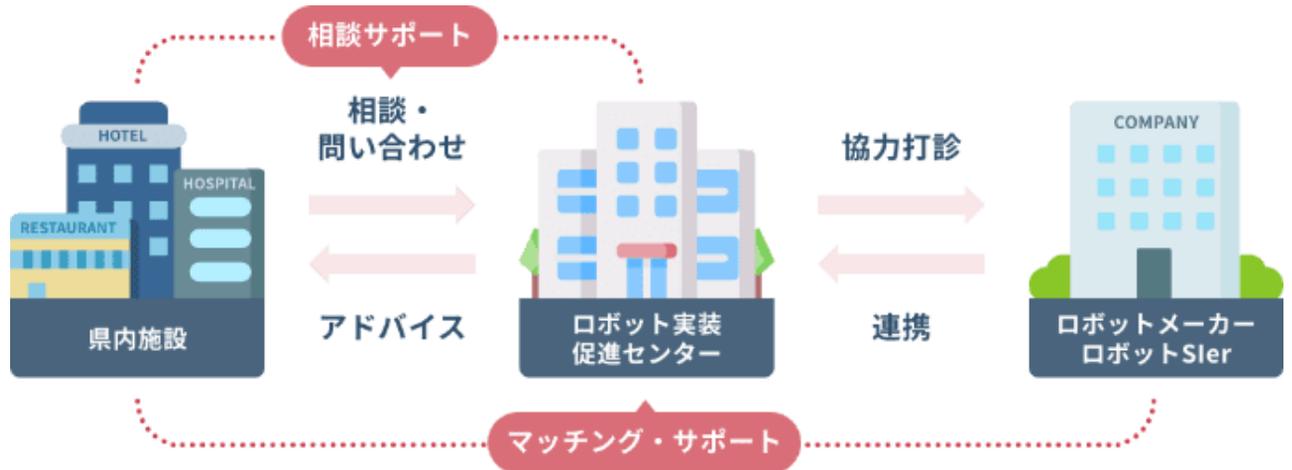


ロボット導入のサポートブック（2025年度分）

concept

ロボット実装促進センターについて

- ロボットを含め、デジタル化（DX）を通じて、施設運営の効率化を図る動きが広がりつつあります。ロボット実装促進センターでは、こうした県内施設（例、鉄道駅、商業施設、文化施設、教育施設、医療施設など）の取り組みをサポートします。



相談サポート：コンサルタントによる課題の整理、解決に向けたアドバイス

- ロボット実装促進センターのコンサルタントが、施設運営における人手不足の課題、業務効率化や生産性向上に関するお悩みに対し、課題を整理した上で、ロボットによる解決を中心としたアドバイスを行います。

マッチングサポート：施設がかかえる課題を解決するロボットのご紹介

- 「相談サポート」のなかで行った課題整理の結果を踏まえ、施設ごとに適した課題解決につながるロボットをご紹介します。また、ご相談者が希望する場合、ロボット実装促進センターを介して、複数のロボット企業やロボットシステムインテグレータから直接説明を聞く機会をご提供します。

導入実証サポートについて

- 「導入実証サポート」では、ロボットの導入にあたり、施設の仕様や利用形態にあう形にロボットを改良するための経費をロボット企業に支援します。



改良に係る経費支援

ロボット企業が施設向けに行うロボットの改良に係る経費として、1プロジェクトあたり税込最大500万円※までサポートを受けることができます。

（※経費は採択施設ではなく、改良を行うロボット企業に対し直接支払います）



ロボットの実装に向けた伴走支援

ロボット実装促進センターのコンサルタントによる、ロボットの実装に向けた運用方法の検討や、効果検証などの伴走支援を受けることができます。

ロボットお試し利用サポートについて

- 「ロボットお試し利用サポート」では、ロボットの現場への導入検討にあたり、「実際にロボットを見てみたい。」、「現場のスタッフが使えるか、現場の環境で動かせそうか試してみたい。」といった「お試し利用」を支援いたします。

【施設にとっての「ロボットお試し利用サポート」のメリット】



ロボットを最大20万円まで無償でお試しできる

施設は、ロボットのお試し利用に係る経費として、1プロジェクトあたり税込最大20万円（注）までサポートを受けることができます。

（注）経費はロボット企業（販売店等を含む）に対し直接支払います。



ロボットの実装に向けた伴走支援

ロボット実装促進センターのコンサルタントによる、ロボットの実装に向けた運用方法の検討や、効果検証などの伴走支援を受けることができます。

【ロボット企業にとっての「ロボットお試し利用サポート」のメリット】



ロボットの導入を検討している潜在顧客への営業機会の獲得

お試し利用を契機に、ロボットの導入を検討している神奈川県内の店舗・施設（採択施設）に対し、自社のロボットあるいはロボットサービスを利用してもらう機会、アピールする機会（県事業を通じた潜在顧客への営業機会）を得ることができます。



お試し利用実施に係る経費の支援が受けられる

ロボットのお試し利用に係る経費として、1プロジェクトあたり税込最大20万円（注）までサポートを受けることができます。

（注）経費はロボット企業（販売店等を含む）に対し直接支払います。



ロボットの利活用、導入に向けた側面支援

お試し利用サポートでは、施設に対し、ロボット実装促進センターのコンサルタントがロボットの利活用や導入に向けた運用方法の検討などについて伴走支援を行います。センターが施設の担当者をサポートすることで、ロボット企業の取り組みも進めやすくなります。

ロボットの導入実証に取り組んだ施設・ロボット企業のご紹介（2025年度分）

- ロボット実装促進センターでは、ロボットの活用を通じて人手不足の課題の解決、業務効率化や生産性の向上などに取り組むことを希望する県内施設、施設課題を解決するロボットを募集・採択し、次の取組を実施しました。

種別	施設名	ロボットを活用した取組内容
スポーツ施設	Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu（等々力陸上競技場）	<ul style="list-style-type: none"> 鳥糞被害への対策による観客が安心して観戦できる環境づくりの実現
児童福祉施設	児童発達支援・放課後等デイサービス・相談支援窓口Thank you	<ul style="list-style-type: none"> 施設に通う児童への福祉サービスの向上や、職員の業務効率化の実現
娯楽施設	サープラ横浜あそびタウン	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な店内物流業務の実施とエンターテインメント性を加えた搬送ロボットの運用 案内ロボットの導入によるフロアスタッフの業務効率化と顧客サービス向上の実現
工場	株式会社ニッソー 本社工場	<ul style="list-style-type: none"> 工場間の自動搬送による従業員の業務効率化と安全性向上の実現
医療施設	相模原協同病院	<ul style="list-style-type: none"> 清掃ロボットの導入による病院職員の業務軽減および患者満足度の向上の実現 搬送ロボットの導入による病院内の重量物・物品搬送業務の自動化と職員負担軽減の実現

種別	施設名	導入実証を行ったロボット	ロボット企業名
スポーツ施設	Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu（等々力陸上競技場）	<ul style="list-style-type: none"> 協働搬送ロボット 	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社アイティーシム
児童福祉施設	児童発達支援・放課後等デイサービス・相談支援窓口Thank you	<ul style="list-style-type: none"> 移動型案内ロボット 	<ul style="list-style-type: none"> ドーナッツロボティクス株式会社
娯楽施設	サープラ横浜あそびタウン	<ul style="list-style-type: none"> 搬送ロボット 	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社アイテックス
		<ul style="list-style-type: none"> アバター型対話AI案内ロボット 	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社アイティーシム
工場	株式会社ニッソー 本社工場	<ul style="list-style-type: none"> 自動配送ロボット 	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社Hakobot
医療施設	相模原協同病院	<ul style="list-style-type: none"> 清掃ロボット 	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社アイティーシム
		<ul style="list-style-type: none"> 搬送ロボット 	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社アイティーシム

ロボットお試し利用サポートに取り組んだ施設・ロボット企業のご紹介 (2025年度分)

- ロボット実装促進センターでは、ロボットの現場への導入検討にあたり、「実際にロボットを見てみたい。」、「現場のスタッフが使えるか、現場の環境で動かそうか試してみたい。」といった「お試し利用」を希望する神奈川県内の施設を募集し、次の施設でのロボットのお試し利用を支援しました。

施設名	ロボット企業名	ロボット名
(株) サードプラネット横浜本社	(株) アイティーシム	清掃ロボット「JINNY20」
(株) サードプラネット サープラ横浜あそびタウン	(株) アイティーシム	サインージロボット「LuckiBot Plus」
某商業施設	(株) アイティーシム	清掃ロボット「JINNY20」
(株) ねこん家 道楽やねこん家	(株) NOAA	自律補助型モビリティロボット「JOY CART」
JAグループ神奈川ビル	(株) アイウイズロボティクス	小型吸引ロボット「DREAME L10s Plus」
金子ビルサービス (株) 金子第2ビル	ヒトロボソリューション (株)	清掃ロボット「JINNY20」
金子ビルサービス (株) 金子第2ビル	ヒトロボソリューション (株)	清掃ロボット「PUDU CC1」
相模原市立橋本小学校	ソニーグループ (株)	見守り介護ロボット「HANAMOFLOR (ハナモフロル)」
鈴廣かまぼこ (株) 鈴廣かまぼこ博物館	(株) C&Jグループ	清掃ロボット「UFO CLEANER」
鈴廣かまぼこ (株) 鈴廣かまぼこ博物館	(株) アイティーシム	清掃ロボット「ONE S55」
麒麟麦酒 (株) 横浜工場(エントランス棟)	ヒトロボソリューション (株)	清掃ロボット「JINNY20」
麒麟麦酒 (株) 横浜工場(エントランス棟)	ヒトロボソリューション (株)	清掃ロボット「PUDU CC1」
麒麟麦酒 (株) 横浜工場 (醸造棟)	ヒトロボソリューション (株)	清掃ロボット「JINNY20」
麒麟麦酒 (株) 横浜工場 (醸造棟)	ヒトロボソリューション (株)	清掃ロボット「PUDU CC1」
麒麟麦酒 (株) 横浜工場 (製品・パッケージング棟)	ヒトロボソリューション (株)	清掃ロボット「JINNY20」
麒麟麦酒 (株) 横浜工場 (製品・パッケージング棟)	ヒトロボソリューション (株)	清掃ロボット「PUDU CC1」
麒麟麦酒 (株) 横浜工場 (屋外芝生庭園)	ヒトロボソリューション (株)	草刈ロボット「450X NERA」
麒麟麦酒 (株) 横浜工場 (屋外芝生庭園)	ヒトロボソリューション (株)	草刈ロボット「410XE NERA」
(株) エムワイ 甘味とごはんや YAICHI	(株) イノフィス	アシストスーツ「Exo-Power」
(株) エムワイ 甘味とごはんや YAICHI	(株) イノフィス	アシストスーツ「GS-BACK」
(株) PURELOGI 横浜物流センター	(株) イノフィス	アシストスーツ「Exo-Power」
(株) PURELOGI 横浜物流センター	(株) イノフィス	アシストスーツ「GS-BACK」
大神商店会 オアシスデラーナ	(株) NOAA	自律補助型モビリティロボット「JOY CART」
某物流倉庫	非公表	某運搬ロボット
某物流倉庫	非公表	某搬送ロボット

case 01

Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu（等々力陸上競技場）
【スポーツ施設】※協働搬送ロボット活用の事例

施設の課題	<ul style="list-style-type: none"> スタンド屋根に飛来する鳥の追い出し・飛来防止対策の必要性
課題解決を通じて目指す施設の姿	<ul style="list-style-type: none"> 鳥糞被害を無くし、観客が安心して観戦できる環境づくりを実現したい 試合直前まで行っているスタンド座席の清掃負担を軽減することで、スタンド座席に限らずスタジアム全体の清掃に十分な時間を確保し、施設管理の質のさらなる向上を図りたい
ロボット導入により期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ZERO Falconによるカラスやハト等の飛来数が減少することによる、鳥の糞清掃作業の清掃時間の削減
選定したロボット等	<ul style="list-style-type: none"> 実施企業：株式会社アイティーシム 協働搬送ロボット「サウザースタンダード」 <p>*参考価格 本体価格350万円～（※鳥飛来防止装置は別途）</p>



協働搬送ロボット「サウザースタンダード」

【協働搬送ロボット「サウザースタンダード」】

- サイズ：60cm×95cm×99cm
- 重さ：140kg
- 機能：操作性が簡単で多様な環境で使用可能な搬送ロボット

（出典）株式会社アイティーシム 提供資料



鳥飛来防止装置「ZeroFalcon」

【鳥飛来防止装置「ZeroFalcon」】

- 特徴：鳥の絶叫音を模した70種類の警報音で威嚇。両翼を広げたハヤブサを忠実に再現。

（出典）ZERO BIRDホームページ
<https://zerobird.jp/falcon/>

< 運用方法の決定、導入効果を高めるために実施したロボット等の改良 >

運用範囲	<ul style="list-style-type: none"> 観客席の一部通路（スタンド上層部）
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 搬送ロボット（サウザースタンダード）の荷台に鳥飛来防止装置（Zero Falcon）およびポータブル充電器を設置 事前に設定したルートに沿ってラインレース方式にて搬送ロボットを走行 その他、バックヤードへの移動および充電についてはスタッフによる対応を実施

< 効果検証の評価指標の設定 >

項目	設定した内容
定量的評価	<ul style="list-style-type: none"> 鳥の糞清掃作業へ対応している実証前後での清掃時間の比較
定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理者・職員からの評価（清掃内容、ロボットの運用、ロボットの影響等）

< 安全性を担保するために事前・期中に実施したリスクアセスメント >

対策	具体的な内容
ロボットの操作 ・安全説明	<ul style="list-style-type: none"> 搬入時に搬送ロボットの操作説明および鳥飛来防止装置の操作および製品仕様に関するレクチャーを実施
運用方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 施設入口およびロボット本体への実証実験実施に関する案内の取付を実施 ロボット本体に実証実験を案内するタペストリーを取付け周囲への注意喚起 観客席について通路幅が限られている為、床面に反射テープを張り付けてライトレースによる運用を実施

< 実証の実施 >

施設における ロボット等の 運用内容	<p>【スタジアムでの実証】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運用期間：2025年12月11日～2026年2月18日 試合等のイベントがある日を除き、曜日関係無く毎日運用（東急コミュニティー様 4名で運用） 運用時間は14～17時をメインとし、その他効果の違いを調べる為に8～11時等でも実証を実施 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
--------------------------	--

< 効果検証 >

ロボット等の 導入効果 (定量的評価)	<ul style="list-style-type: none"> 清掃時間の減少 - 1日あたりの清掃時間を約1時間減少 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 試合直前までに行っているスタンド座席の清掃負担を軽減することができた。 ✓ 清掃負担の軽減に伴い、スタンド座席に限らずスタジアム全体の清掃への時間を確保できることが確認できた。
ロボット等に対する 施設関係者の 反応・コメント (定性的評価)	<p>【施設管理者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常の業務の中で、糞量は減っていると感じた。 ライトレース方式を採用したことで、狭い通路であったことを鑑みると、概ねスムーズに稼働したと思われる。（障害物を検知して走行停止してしまうこともあった。） 施設周辺の住民からのZeroFalconの威嚇音に対するクレームはなかった。 <p>【現場清掃スタッフ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体的に糞の量が減った。ロボットが稼働している間は鳥が寄って来なくなった。 ロボットが稼働している上部には、鳥類がとまることは少なくなったことが確認できた。（ZeroFalconがロボットで移動したことに効果があった。）

case 02

児童発達支援・放課後等デイサービス・相談支援窓口Thank you
【児童福祉施設】※移動型案内ロボット活用の事例

施設の課題	<ul style="list-style-type: none"> 児童とロボットとのコミュニケーションや、ロボットによる児童の見守りを通じて、サービスの質を向上させる必要性 施設職員が行う記録・管理業務等を効率化する必要性
課題解決を通じて目指す施設の姿	<ul style="list-style-type: none"> ロボットを通じたコミュニケーション体験による児童・保護者の満足度の向上や、データ活用によるサービスの質の向上を実現したい ロボット活用による見守りの強化 ロボット等を活用して職員の記録・管理業務等を自動化し、業務の効率化と職員の負担軽減を実現したい
ロボット導入により期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> 児童の体温測定を自動化することで、施設職員の作業時間の削減 ロボットが教室内巡回をすることにより、多様なプログラムを提供し、子供たちの学習意欲を引き上げる
選定したロボット等	<ul style="list-style-type: none"> 実施企業：ドーナツロボティクス株式会社 移動型案内ロボット「cinnamon Guide」 <p>*参考価格200万円～（リース:月額2.5万円～）（税抜）</p>



【移動型案内ロボット「cinnamon Guide」】

- サイズ：41cm×41cm×100cm
- 重さ：21kg
- 機能：生成AIを搭載した移動型走行ロボット。与えた情報を理解し、指示通りにふるまうことが可能。特徴は、スムーズな会話コミュニケーション、目的の場所までの案内、及び多言語翻訳が可能である点。

移動型案内ロボット
「cinnamon Guide」

（出典）ドーナツロボティクス株式会社提供資料

< 運用方法の決定、導入効果を高めるために実施したロボット等の改良 >

運用範囲	<ul style="list-style-type: none"> 施設入り口および教室内
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 児童の体温を別で設置した体温計で取得し、自動出力できるよう調整（システムと連携する場合は、システム変更が必要） ロボットによる受付での声掛けを実施 ロボットによる教室移動及び児童とのコミュニケーションをとるための会話、ゲームなどの実施

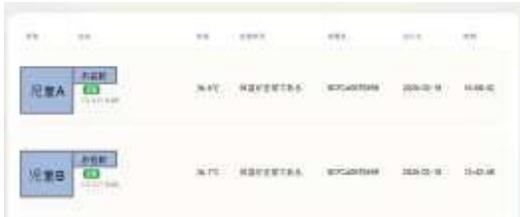
< 効果検証の評価指標の設定 >

項目	設定した内容
定量的評価	<ul style="list-style-type: none"> 体温測定の自動化による施設職員の作業時間の減少
定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ロボット運用に対する施設関係者からの評価

< 安全性を担保するために事前・期中に実施したリスクアセスメント >

対策	具体的な内容
ロボットの操作 ・安全説明	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理者に対し、ロボットの操作方法や安全運用のための方法を説明
運用方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理者にて、ロボットのログを取得できるよう、システム開発を実施 むやみな回転を防ぐようにロボットを改良 木製のスロープを設置することにより、ロボットの転倒防止対策を実施 走行速度を最遅に設定

< 実証の実施 >

施設における ロボット等の 運用内容	<p>【児童発達支援・放課後等デイサービス・相談支援窓口Thank youでの実証】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運用期間：2025年12月1日～2026年2月28日（日曜祝日、年末年始を除く） ロボット体験人数：約150名／3カ月（延べ） ロボットによる声掛け、コミュニケーションをとるための会話、ゲームなどを実施 児童の顔を識別可能な体温計にて体温を計測し、クラウドに保存することで施設運営システムとの連携準備まで完了 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p style="text-align: right;">計測した体温を自動登録するシステム</p> <p>ロボットの転倒防止対策のために設置したスロープ（写真左） 児童の顔認証可能な体温計（写真右）</p>
--------------------------	--

< 効果検証 >

ロボット等の 導入効果 （定量的評価）	<ul style="list-style-type: none"> 1日あたり240秒程度の施設職員の作業時間を削減できることを確認 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 今回構築したシステムを用いて、実際の児童の体温を測定し、クラウド上にデータを保存することを確認できた。 ✓ 今回は、実証期間内で既存の施設運営システムから新システムへの切り替えが難しかったため、上記の効果にとどまったが、新システムに切り替えが果たせれば、体温測定の手入力業務（1時間/日）がすべて削減できる。
ロボット等に対する 施設関係者の 反応・コメント （定性的評価）	<p>【施設職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが、ロボットと会話することを楽しんでいる時には、職員の見守りの負担が軽減した。 ロボットに触れることで子どもたちの興味の幅が広がった。 ロボットを介して、普段関わらない子ども同士が関わる姿が見られた。子ども同士の関係作りを自然とサポートしてくれるところが良かった。 帰り時間にロボットが忘れ物への声掛けをしてくれ、「自分の持ち物を自分で管理する」という課題に対し、これまで職員（人間）の声掛けには嫌悪感を示していた児童もロボットからの声掛けは好意的に聞く事ができた。 職員の指導をロボットを介して指摘をすることで、児童の心理的負担が下がった。 当初は保護者から理解が得られるか懸念されていたが、概ね好意的な意見が得られた。

case 03

サープラ横浜あそびタウン【娯楽施設】 ※搬送ロボット活用の事例

施設の課題	<ul style="list-style-type: none"> 広範な店舗内の搬送業務（機器からの集金・補充、景品等の搬送）の効率化やスタッフの負担軽減の必要性
課題解決を通じて目指す施設の姿	<ul style="list-style-type: none"> 搬送ロボットを導入することで、重い硬貨をゲーム機や両替機の下部から屈んで回収・補充・運搬するスタッフの作業負担を軽減したい 搬送業務の効率化により、空いたリソースを接客等のより付加価値の高いコア業務に振り向けたい ゲームセンターの雰囲気にあった外装・装飾や、エンターテインメント要素の追加によって、単なる搬送業務にとどまらない「楽しさ」を演出したい（例.拍手ロボットとの連携等）
ロボット導入により期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> 台車からロボットへ置換することにより一度に搬送できる量の増加 手押しの台車を押しながら移動等の負担が減少することにより別業務への対応時間増加 ロボット本体への装飾により、エンタメ要素を追加しお客様に楽しさを感じていただけることが期待される
選定したロボット等	<ul style="list-style-type: none"> 実施企業：株式会社アイテックス 搬送ロボット「PUDU T300」*参考価格430万円（リース:8.5万円～）



搬送ロボット「PUDU T300」

【搬送ロボット「PUDU T300」】

- サイズ：50cm×78cm×134cm
- 重さ：80kg
- 機能：最大積載量300kgのリフトアップと牽引を1台で実現できる搬送ロボット。多数のセンサーと360°障害物回避性能により、今まで走行できなかった狭い通路や特定の目的地へ最小通過幅60cmまで運用可能。

（出典）株式会社アイテックス提供資料

< 運用方法の決定、導入効果を高めるために実施したロボット等の改良 >

運用範囲	<ul style="list-style-type: none"> 施設フロア内のUFOキャッチャーエリア
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 牽引機能およびエンタメ性を重視した装飾を加えた搬送ロボットで、硬貨の補充作業および倉庫、配送ポイントまでの景品の搬送を実施

< 効果検証の評価指標の設定 >

項目	設定した内容
定量的評価	<ul style="list-style-type: none"> 搬送作業回数の検証 搬送含む倉庫での作業時間の減少の検証
定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ロボット運用に対する施設関係者からの評価

< 安全性を担保するために事前・期中に実施したリスクアセスメント >

対策	具体的な内容
ロボットの操作 ・安全説明	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理者に対し、ロボットの操作方法や安全運用のための方法を説明 ロボットの操作マニュアルを作成し、施設の管理スタッフに共有
運用方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 牽引台車に保護カバー（クッション材）を装着 マッピング時に侵入禁止エリアおよび走行ルートを設定 牽引治具の作成 施設にあったエンタメ性を重視した装飾を実施

< 実証の実施 >

施設における ロボット等の 運用内容	<p>【サープラ横浜あそびタウンでの実証】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運用期間：2025年12月16日～2026年2月27日 主に5名の施設職員にて搬送ロボットを利用した実証を実施 景品エリアの各配送ポイントまで景品の搬送を実施 施設職員は各配送ポイントを運搬番号で指定することで、ロボットへの指示を実施 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ロボットの運用エリア</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ロボット走行中の様子 (カゴ台車を牽引しての走行)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>スタッフ向けに ポイント名を貼り付け</p> </div> </div>
--------------------------	--

< 効果検証 >

ロボット等の 導入効果 (定量的評価)	<ul style="list-style-type: none"> 実証期間中に延べ約1,470回の搬送タスクを実施、運搬作業人員削減が3人から2人に削減できることが判明 倉庫での作業時間が2/3ほどに短縮 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 搬送ロボットは、倉庫の内部には入らずに倉庫の手前でロボットを待機させる運用とした。搬送をロボットに任せることで、手の空いたスタッフの方が合い間に作業することが可能となり、作業時間は2/3ほどに短縮できた。
ロボット等に対する 施設関係者の 反応・コメント (定性的評価)	<p>【施設スタッフ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 倉庫から倉庫への移動で利用したが、単純作業の業務負担が緩和された。 集金での需要は強いと思うので、集金業務での運用方法を確立したい。

case 04

サープラ横浜あそびタウン【娯楽施設】

※アバター型対話AI案内ロボット活用の事例

施設の課題	<ul style="list-style-type: none"> 「お客様から軽微な質問を受けることによるコア業務の遅延」を防ぐ必要性 ※コア業務とは、クレーンゲーム景品の補充・位置調整、景品の発注・在庫管理、シフト作成等
課題解決を通じて目指す施設の姿	<ul style="list-style-type: none"> お客様が、困りごとがある際、スタッフを探す手間なく、すぐに対応できる施設にしたい お客様への挨拶はもちろん、積極的な声かけにより、より楽しく過ごせる環境を目指したい 景品の不足がないよう、余裕を持って補充や管理作業ができるオペレーション体制を整えたい
ロボット導入により期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> お客様がスタッフを探す事なくLinKaによって迅速に困りごとを解決できる環境提供 店舗スタッフによるお客様への挨拶や様々なお声がけをして一層楽しんでいただける環境構築 景品の不足等が無いように余裕をもって補充等の作業が行えるオペレーション
選定したロボット等	<ul style="list-style-type: none"> 実施企業：株式会社アイティーシム アバター型対話AI案内ロボット「Linka」*参考価格230万円～



アバター型対話AI案内ロボット「Linka」

【アバター型対話AI案内ロボット「Linka」】

- サイズ：65cm×65cm×175cm
- 重さ：55kg
- 機能：アバターを用いた対話型AI案内ロボット（据え置き型）。当ロボットは、ユーザー側でも対話内容の作成や修正が可能であり、既存ロボットの課題であったソフトの開発費用負担を大幅に軽減することができる。利用者がいない時間はサインエージモニターとしても活用でき、様々な施設での利用が想定される。

（出典）株式会社アイティーシム提供資料

< 運用方法の決定、導入効果を高めるために実施したロボット等の改良 >

運用範囲	<ul style="list-style-type: none"> サープラ横浜あそびタウン施設中央に設置
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 営業時間内は基本的に電源を投入し運用実施 駐車券の案内、店舗内の案内等、設定したメニューに応じて来店者への案内 運用期間：2025年12月22日～2026年2月20日 上記期間内、毎日、店舗営業時間（午前10時～午後10時）運用実施

< 効果検証の評価指標の設定 >

項目	設定した内容
定量的評価	<ul style="list-style-type: none"> アバター型対話AI案内ロボット「Linka」の利用回数 サープラネット社内アンケートによるスタッフのお客様対応の工数
定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ロボット運用に対する施設関係者からの評価

< 安全性を担保するために事前・期中に実施したリスクアセスメント >

対策	具体的な内容
ロボットの操作 ・安全説明	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理者に対し、ロボットの操作方法等についての説明会を実施
運用方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の環境音が大きく、来店者が存在に気付かない可能性がある為に外付けのスピーカーを設置し認識しやすいように改良実施 使用していない間でもサイネージ画面にて音を発することにより安全性へ考慮 コンセントからのモニターまでのコードが引っかからないように通路にはみ出さないように設置 アイキャッチで注目を引く足元マットの設置

< 実証の実施 >

施設における ロボット等の 運用内容	<p>【サープラ横浜あそびタウンでの実証】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運用期間：2025年12月22日～2026年2月20日 上記期間内、毎日、店舗営業時間（午前10時～午後10時）運用実施 営業時間内は基本的に電源を投入し運用実施 駐車券の案内、店舗内の案内等、設定したメニューに応じて来店者への案内を行う <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
--------------------------	--

< 効果検証 >

ロボット等の 導入効果 (定量的評価)	<ul style="list-style-type: none"> 利用回数：直近（2/8-14）において平均201件/日の利用 <ul style="list-style-type: none"> ✓ お客様がスタッフを探す事なくLinKaによって迅速に困りごとを解決できる環境提供を実現できた。 ✓ スタッフに聞きたくても遠慮して聞けないケースをカバー出来ている可能性が高い。 対応工数：約73%のスタッフがお客様対応の工数が減ったと回答 <ul style="list-style-type: none"> ✓ お客様対応の工数が減ったことで、景品の不足等が無いように余裕をもって補充等の作業が行えるオペレーションの実現に近づいた。
ロボット等に対する 施設関係者の 反応・コメント (定性的評価)	<p>【施設管理者】</p> <ul style="list-style-type: none"> メニュー追加や事前学習の充実を図ることにより利用促進や対応レベルの向上に繋がる事が確認出来た。 ログが充実しているため、ログデータを分析しやすく、メニューの拡充などに活用できる。 <p>【施設スタッフ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 駐車場利用方法の追加することにより利用が増え、結果として問い合わせが減少した。 足元マットを設置したことにより、お客様の中で、「使ってみよう」とマインドの変化があったものと思料する。

case 05

ニッソー本社工場【金属加工工場】※自動配送ロボット活用の事例

施設の課題	<ul style="list-style-type: none"> 本社工場およびグループ会社のオフィス、在庫保管用の倉庫間の物流効率化の必要性
課題解決を通じて目指す施設の姿	<ul style="list-style-type: none"> 自動配送ロボットで搬送業務を省力化し、社員の業務負担を削減するとともに、搬送業務における安全性の向上を図る。
ロボット導入により期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> 削減できた工数を製品加工等の本来業務に充当することで、工場全体の生産力向上を目指す。
選定したロボット等	<ul style="list-style-type: none"> 実施企業：株式会社Hakobot 自動配送ロボット「Hakobot」*製品販売前のため価格未定



自動配送ロボット「Hakobot」

【自動配送ロボット「Hakobot」】

- 機能：SLAMによる自律走行と近接操作による運行機能
- 全長 1,026mm×全幅 660mm×全高 946mm (荷室を除く)
- 耐荷重：100kg 最大登坂角度：10 度
- 特長：独自の四輪駆動四輪操舵設計で、高い走破性と小回り性能を同時に実現。低速小型規格の自動配送ロボットでは最重量級となる、100kg の荷物の搬送が可能

(出典) 株式会社Hakobot 提供資料

< 運用方法の決定、導入効果を高めるために実施したロボット等の改良 >

運用範囲	<ul style="list-style-type: none"> 本社工場からグループ会社と倉庫のある区間 (片道約200m) での公道を介したピストン配送
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 警察庁の定める自動配送ロボットの公道実証実験運用ルールに則り、今回は近接監視・操作者を付けた形での実証実験を実施 サイズが異なる荷物を運ぶ際に発生する梱包作業の工数を削減するため、軽トラックのような荷台を実装し、荷締めベルト等で荷物を固定できる改良を実施

< 効果検証の評価指標の設定 >

項目	設定した内容
定量的評価	<ul style="list-style-type: none"> 実証期間中の1日の搬送回数と搬送重量を検証、1日の平均搬送回数を算出
定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 運用担当者の評価 (①期待値数値②安全性について③デザイン・ユーザーコミュニケーション④利便性⑤社会受容性と地域との相性⑥運用・ルール面⑦総合評価、等) *アンケート調査

< 安全性を担保するために事前・期中に実施したリスクアセスメント >

対策	具体的な内容
ロボットの操作 ・安全説明	<ul style="list-style-type: none"> 走行させるコースについては、事前に神奈川県警及び地元の金沢警察署に確認を取り、道路交通法に則り安全に運行するコース設計を実施 ロボットの操作説明や操作パネルの使用方法を運用担当者に共有
運用方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ロボットの視認性をアップさせるため、ロボットのライトは常時点灯での対応を実施 近接監視員は反射ベストの常時着用、夕方はLEDバンドを腕に装着 工業団地での運用となったため、事前に団地協同組合に説明を行って組合員に周知

< 実証の実施 >

施設における ロボット等の 運用内容	<p>【公道でのピストン搬送】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運用期間：2026年1月13日～2026年1月30日 設置場所：本社工場内にロボットの定住地を設け、グループ会社と倉庫前にも合計3箇所の停留所を設置 運用方法：本社工場と倉庫及びグループ会社との資材のピストン搬送を、公道を介した片道200m、往復400mのルートで自動配送ロボット1台を用いて実施。運用時は、運用担当が一人付き添い、ロボットを近接監視・近接操作を行い、安全に運用を行う。
--------------------------	---



公道での自動搬送の様子
(出典) 株式会社Hakobot 提供資料

< 効果検証 >

ロボット等の 導入効果 (定量的評価)	<ul style="list-style-type: none"> 将来的な無人配送実現を確認 (総搬送回数47回、1日の平均搬送回数3.1回、総搬送重量2,860kg、平均搬送重量60.9kg) ✓ 実証実験実施期間中の約3週間での総搬送回数は合計47回、1日の平均搬送回数は約3.1回。 ✓ 今回は人が付き添う形での運用だったため直接の工数削減には至っていないが、遠隔監視・遠隔操作での運用となれば、かなりの工数削減が見込める。
---------------------------	--



ロボット等に対する 施設関係者の 反応・コメント (定性的評価)	<p>【施設側運営担当者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際の公道環境でロボットが走行する様子を確認でき、実用化の可能性を感じた。 製造業の現場において搬送業務の効率化につながる技術として期待できる。 工業地域であるため、工場間の搬送などには適した環境だと感じたが、一方で路上駐車などがあり、その対応ができればより有効である。
---	---

case 06

相模原協同病院【医療施設】※清掃ロボット、搬送ロボット活用の事例

施設の課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 清掃業務のコスト削減の必要性 2. 搬送業務の効率化・負担軽減の必要性
課題解決を通じて目指す施設の姿	<ol style="list-style-type: none"> 1. 清掃ロボットの導入により、清掃業務の省人化・効率化を実現し、コストを3～5割削減することで、削減したコストを職員教育や医療機器の更新・導入など、病院のサービス向上に充てたい。 2. 搬送ロボットの導入により、重量物搬送業務の自動化・効率化を推進し、職員の肉体的・時間的負担を軽減することで、削減・効率化した人的リソースを、患者サービス向上や医療業務の充実など、より付加価値の高い業務へ充当したい。
ロボット導入により期待する効果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 清掃に関する外部委託費用のコスト削減 2. 重量搬送物の配送に対する工数削減およびスタッフの肉体的・時間的負担軽減
選定したロボット等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施企業：株式会社アイティーシム ・ 清掃ロボット「ONE S55」*参考価格230万円～ ・ 搬送ロボット「CarryBot3」*参考価格250万円～ ・ 搬送ロボット「LuckiBot Pro Autodoor」*参考価格250万円～



清掃ロボット「ONE S55」

【清掃ロボット「ONE S55」】

- ・ サイズ：58cm×65cm×55cm
- ・ 重さ：70kg
- ・ 機能：複数の清掃モードを備えあらゆる床材に対応。静音性に優れ広範囲な清掃を効率的に実施可能

(出典) 株式会社アイティーシム 提供資料



搬送ロボット「CarryBot3」(写真左)「LuckiBot Pro Autodoor」(写真右)

【搬送ロボット「CarryBot3」】

- ・ 特徴：最大85kgを搬送可能なロボットであり自律走行および追従走行が可能

【搬送ロボット「LuckiBot Pro Autodoor」】

- ・ 特徴：配膳・搬送用に活用されるロボットにオートドアを搭載することで、搬送物へのセキュリティを向上させたロボット

(出典) 株式会社アイティーシム 提供資料

< 運用方法の決定、導入効果を高めるために実施したロボット等の改良 >

運用範囲	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正面玄関のあるロビーエリア (清掃ロボット) 2. 1Fおよび2F職員専用エリア (搬送ロボット)
運用方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2台の清掃ロボットで床清掃 (吸引) を実施、タイマー機能を使用し午前0時より自動で作業開始し、終了後に自動で充電エリアに帰還 2. 職員専用エリア内にある4箇所をロボットの配送ポイントとして設定し、そのポイント間で搬送運用実施

< 効果検証の評価指標の設定 >

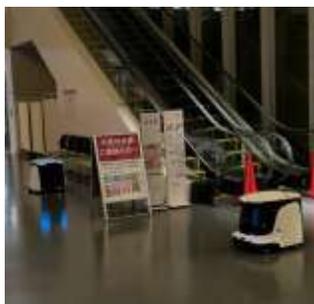
項目	設定した内容
定量的評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. ロビーの床清掃の清掃面積およびロボットが清掃した範囲の人員費の算出 2. ロボットを用いた搬送業務の搬送回数
定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設管理者・職員からの評価 (1および2で共通)

< 安全性を担保するために事前・期中に実施したリスクアセスメント >

対策	具体的な内容
ロボットの操作 ・安全説明	<ul style="list-style-type: none"> 施設職員に対し、清掃ロボットおよび搬送ロボットの操作方法の説明を実施
運用方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ロボット本体への装飾を実施 往来の多いエリアについて通路に対する走行ルートの詳細な設定やソフト上でのロボットの侵入不可エリアの設定を実施 充電場所等を実証に関する掲示物を設置

< 実証の実施 >

施設における ロボット等の 運用内容	<p>【相模原協同病院での実証】</p> <ol style="list-style-type: none"> 清掃ロボット <ul style="list-style-type: none"> 運用期間：2026年2月25日～2026年2月27日 正面玄関のあるロビーエリアについて2台の清掃ロボットで床清掃（吸引）実施 搬送ロボット <ul style="list-style-type: none"> 運用期間：2026年2月12日～2026年2月27日 重量面で負担の掛かるファイリングされた書類、会議時に使用する什器の搬送を実施 個人情報等の記載がある書類の搬送を実施
--------------------------	--



< 効果検証 >

ロボット等の 導入効果 (定量的評価)	<ol style="list-style-type: none"> 約516㎡の床清掃（吸引）を実施 <ul style="list-style-type: none"> ✓ イスやテーブル周辺以外の床スペースについては清掃ロボットの活用可能と確認出来た。 ✓ タイマー機能を利用することにより、運用工数を削減可能であることが確認出来た。 ✓ 今回の清掃エリアでの清掃を「建築保全業務労務単価（国土交通省）」を用いて、人件費を試算すると、年額約70万円に相当することが確認出来た。 「CarryBot3」で28回、「LuckiBot Pro Autodoor」で36回の搬送業務を実施 <ul style="list-style-type: none"> ✓ CarryBot3の棚を利用することによりこれまで台車で運搬していた作業効率化が可能。 ✓ 施設が広く職員の負担が大きかったが、肉体的にも時間的にも軽減が見込める。
ロボット等に対する 施設関係者の 反応・コメント (定性的評価)	<ol style="list-style-type: none"> 清掃ロボット <ul style="list-style-type: none"> 清掃ロボットの音の大きさ等は懸念していたが、問題なく稼働しており、他の職員からの反応も良かった。 搬送ロボット <ul style="list-style-type: none"> ロボットの操作自体は非常に簡単で誰でも利用可能であった。 入院患者等は大きな荷物を持っていることが多く、ロボットで運ぶようなことも検討出来る。 実証期間中は職員専用エリアで実施するが、実際には各科の受付と精算カウンター等の間で書類関連を運べると効率的な運用になると考えている。

本サポートブックでご紹介するロボットお試し利用サポートの事例

- 次頁より、お試し利用サポートの代表的な事例を4つのカテゴリごとに取りまとめ、内容をご紹介します。

施設名	ロボット企業名	ロボット名
category 01 清掃ロボット		
(株) サードプラネット横浜本社	(株) アイティーシム	清掃ロボット「JINNY20」
某商業施設	(株) アイティーシム	清掃ロボット「JINNY20」
金子ビルサービス (株) 金子第2ビル	ヒトロボソリューション (株)	清掃ロボット「JINNY20」
金子ビルサービス (株) 金子第2ビル	ヒトロボソリューション (株)	清掃ロボット「PUDU CC1」
鈴廣かまぼこ (株) 鈴廣かまぼこ博物館	(株) C&Jグループ	清掃ロボット「UFO CLEANER」
鈴廣かまぼこ (株) 鈴廣かまぼこ博物館	(株) アイティーシム	清掃ロボット「ONE S55」
麒麟麦酒 (株) 横浜工場(エントランス棟)	ヒトロボソリューション (株)	清掃ロボット「JINNY20」
麒麟麦酒 (株) 横浜工場(エントランス棟)	ヒトロボソリューション (株)	清掃ロボット「PUDU CC1」
麒麟麦酒 (株) 横浜工場 (醸造棟)	ヒトロボソリューション (株)	清掃ロボット「JINNY20」
麒麟麦酒 (株) 横浜工場 (醸造棟)	ヒトロボソリューション (株)	清掃ロボット「PUDU CC1」
麒麟麦酒 (株) 横浜工場 (製品・パッケージング棟)	ヒトロボソリューション (株)	清掃ロボット「JINNY20」
麒麟麦酒 (株) 横浜工場 (製品・パッケージング棟)	ヒトロボソリューション (株)	清掃ロボット「PUDU CC1」
category 02 自律補助型モビリティロボット		
(株) ねこん家 道楽やねこん家	(株) NOAA	自律補助型モビリティロボット 「JOY CART」
大神商店会 オアシスデラーナ	(株) NOAA	自律補助型モビリティロボット 「JOY CART」
category 03 見守り介護ロボット		
相模原市立橋本小学校	ソニーグループ (株)	見守り介護ロボット 「HANAMOFLOOR (ハナモフロル)」
category 04 アシストスーツ		
(株) エムワイ 甘味とごはんや YAICHI	(株) イノフィス	アシストスーツ「Exo-Power」
(株) エムワイ 甘味とごはんや YAICHI	(株) イノフィス	アシストスーツ「GS-BACK」
(株) PURELOGI 横浜物流センター	(株) イノフィス	アシストスーツ「Exo-Power」
(株) PURELOGI 横浜物流センター	(株) イノフィス	アシストスーツ「GS-BACK」

category 01 清掃ロボットのお試し利用サポート事例

<p>実施施設種別 および施設名</p>	<p>[事務施設] ① (株) サードプラネット横浜本社 ② JAグループ神奈川ビル ③ 金子ビルサービス (株) 金子第2ビル [商業施設] ④ 某商業施設 [文化施設] ⑤ 鈴廣かまぼこ (株) 鈴廣かまぼこ博物館 [流通施設] ⑥ 麒麟麦酒 (株) 横浜工場</p>
<p>利用したロボット およびロボット企業</p>	<p>[小型] ・ JINNY20 / (株) アイティーシム [①④]、ヒトロボソリューション (株) [③⑥] ・ DREAM L10s Plus / (株) アイウイズロボティクス [②] ・ UFO CLEANER / (株) C&Jグループ [⑤] [中型] ・ PUDU CC1 / ヒトロボソリューション (株) [③⑥] ・ ONE S55 / (株) アイティーシム [⑤]</p>
<p>効果・気づき・関係 者の反応 (まとめ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小型の清掃ロボットについては、「安価であり操作・メンテナンスも簡単で、ムラなく予定していたエリアを清掃できた」とするコメントが多数を占めた。一方、「予期しない床の障害物によってロボットが停止してしまうこともあること」が報告された(床のコード等)。 ➡導入に向けては、実際の運用予定エリアで試走をさせ、事前にロボットの稼働に問題がないことを確認することが重要である。 ・ 中型の清掃ロボットについては、「長時間・広大面積での稼働に有用性を感じる」コメントが多くある一方、「コストパフォーマンスを気にする」コメントが挙げられた。 ➡導入に向けては、ロボットのサイズ・スペックが、導入予定エリアに適合しているか吟味し、コストパフォーマンスを高める運用を検討することが重要である(複数施設やフロアでの共用等)。
<p>導入に向けた 留意点 (抜粋)</p>	<p>以下項目についての事前確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運用予定エリアの床面状況(反射や配線の有無等) ・ 運用中の照度(運用時間帯に照明が落とされるか等) ・ 什器の下も清掃を希望する場合、什器のサイズやレイアウトの変動等 ・ 操作者視点での操作性・メンテナンス性 ・ 周囲への騒音の影響 ・ 施設内のWi-Fi接続可否の有無 ・ 警備センサーによる清掃範囲の制限

小型清掃ロボットの試用の様子

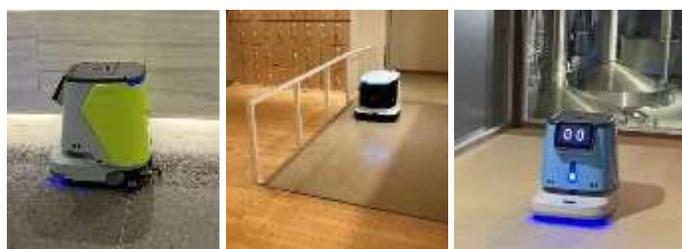


①の施設

②の施設

⑤の施設

中型清掃ロボットの試用の様子



③の施設

⑤の施設

⑥の施設

category 02 自律補助型モビリティロボットのお試し利用サポート事例

<p>実施施設種別 および施設名</p>	<p>[商業施設] ① (株)ねこん家 道楽やねこん家 [事務施設] ② 大神商店会 オアシスデラーナ</p>
<p>利用したロボット およびロボット企業</p>	<p>自律補助型モビリティロボット「JOY CART」 / (株) NOAA</p>
<p>効果・気づき・関係 者の反応 (まとめ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 得られた効果としては、「高齢者等が坂道や長距離等を移動する際の支援に有効であり、介助者／被介助者の負担軽減に寄与する」とのコメントが複数あった。 ➡施設や周辺地域の回遊性を高める手段の一つとして、本ロボットの利用が有効であることが示された。 利用を通じた気づきとして、「大規模商業施設や病院等に設置し、一時利用できる使い方のアイデア」が出た。一方、「利用者によってはレバー操作や混雑時の操作に不慣れな部分」が見られた。 ➡利用者によっては操作に慣れが必要な部分があり、運用の際には丁寧な説明・レクチャー等を行うことが重要である。 「折りたたんでタクシーに搭載可能(20kg)な点は取り回しがしやすい」という反応があった一方、「さらなる軽量化や、バックミラー・ウインカー・ライト・ドライブレコーダー・後部のハンドル等の装備の追加を望む」コメントがあった。 ➡導入に向けては、引き続き多くの利用者に利用していただいて声を集め、現場に即した機能面・運用面での改良を進めていくことが重要である。
<p>導入に向けた 留意点 (抜粋)</p>	<p>以下項目についての事前確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ロボット本体の保管・充電スペースの確保 複数台・他拠点で運用する場合の運用方法(乗り捨て等の検討、設置する施設の導線設計等)



①の施設での試用の様子



②の施設での試用の様子

category 03 見守り介護ロボットのお試し利用サポート事例

実施施設種別 および施設名	[教育施設] 相模原市立橋本小学校
利用したロボット およびロボット企業	見守り介護ロボット「HANAMOFLOR（ハナモフロ）」
効果・気づき・関係 者の反応 (まとめ)	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で、事前にロボットへの質問を考えてから参加していただいたこともあり、ロボットとのコミュニケーション（挨拶・お話・クイズ・じゃんけん等）を純粋に楽しむ児童が多く見られ、お手紙をプレゼントする姿や、「ハナちゃん、またね！」と挨拶する姿、「また遊びたい」という声も見られた。 →少ない交流期間の中でも、ハナちゃんが「友だち」として受け止められ、関係が築かれていたことが確認された。 ロボットのマイペースさや誤認識等による予想外の反応も受け入れ、「新しい友達」として、思いやりや優しさをもって接していた。 →思い通りにならない相手と関わる中で、待つこと、聞くこと、相手に合わせる事が自然に引き出され、関係性を育む学びにつながる可能性が確認された。 ハナちゃんとの交流を通じて、歌う・遊ぶ・話しかける・手紙を書くなど、「ハナちゃんのために」と自然に行動する姿が見られた。 →子どもたちの自発性、他者視点、自己表現を引き出し、道徳・国語・SST/SEL（※）の観点からも意義のある実践となった。
導入に向けた 留意点	<ul style="list-style-type: none"> 本ロボットは高齢者向け実証をもとに開発されてきた試作機であるため、高齢者向けのコメントや会話になる場面があった。教育現場で活用する際は、学校で何を目的に活用するかを整理し、授業内への組み込み方や児童への説明も含めて事前に調整しておくことが重要である。

※SST（Social Skills Training）：社会生活スキルトレーニング。人との上手な接し方や、社会で生活していくためのコツを練習して身につける訓練。

SEL（Social and Emotional Learning）：会性と情動の学習。社会性や共感性、協調性、粘り強さといった「非認知能力」を育むことをめざした学び。



施設での試用の様子

category 04 アシストスーツのお試し利用サポート事例

<p>実施施設種別 および施設名</p>	<p>[商業施設] ① (株) エムワイ 甘味とごはんや YAICHI [流通施設] ② (株) PURELOGI 横浜物流センター</p>
<p>利用したロボット およびロボット企業</p>	<ul style="list-style-type: none"> GS-BACK / (株) イノフィス [①②] Exo-Power / (株) イノフィス [①②]
<p>効果・気づき・関係 者の反応 (まとめ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身体へのアシスト力・サイズが異なる2機種を試用。「腰に対してのアシスト力に関しては、飲食店・物流倉庫どちらの現場作業においても十分である」や「重いものを持つ際の不安感等の精神的な負担の削減にも効果がある」とのコメントがあった一方、「物流倉庫では腕への負荷が残る」との指摘があった。 ➡現場での重量物の運搬作業等の負担軽減に寄与することが確認された。 「装着した状態で、重量物運搬以外の業務を行う際、着け心地が気になる」との指摘があった。(電話が肩に挟めない、しゃがんだ姿勢だと圧迫感がある等) ➡重量物の搬送以外の業務も頻繁に行う場合には、装着の簡単な機種を選ぶ等の配慮が必要。
<p>導入に向けた 留意点 (抜粋)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現場の作業内容や扱う重量物に応じた仕様(アシスト力・サイズ・着け心地・着脱のしやすさ等)のロボットを選定する必要がある。 装着時間を考慮した現場業務への適用 装着ミスを防ぐためのレクチャーや確認作業等の実施



①の施設での試用の様子



②の施設での試用の様子

memo

神奈川県ロボット/ドローン開発・実装促進事業

令和7年度ロボット実装促進センター受託事業者：TIS株式会社

TEL：050-8892-3575（10時～17時 月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く））

WEB：https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0604/jisso_center/

